

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2016年11月17日

「名取市 箱塚屋敷仮設住宅」

Happy Doll Project

約1年ぶりに箱塚屋敷仮設住宅へ3回目の訪問しました。前回にハッピードールを作ったことがある人や初めてに参加する人が来てくださいました。

早速作り始め、皆さんの針縫いがとても器用で、夢中に丁寧に針縫いし、猫、うさぎ、アンパンマン、象、クマ等とても素敵な作品が誕生しました。

箱塚屋敷仮設住宅は、聴覚に障がいを持つ人も住まれており、周りが聴こえる人ばかりでコミュニケーションの不安からみんなの輪に入れず、気遣いにて仮設住宅のイベントにもほとんど参加せずにはいました。その聴覚障がい者夫婦が初めて参加。今回は、手話ができるスタッフの通訳にて健聴者の参加者とコミュニケーションをとり、色々お話を交わすことが出来ました。

ある健聴者の参加者2名は、聴覚に障がいを持つ夫婦に対して、「家が近いから縫い物をよくやっていたのは知っていたけど、昔、学校で裁縫の勉強をしたり着物や色々何でも作っていたのは知らなかったです。今日初めて知りましたが、聞いて良かった」と語る。震災で津波が来る前にどうしていたのか？どうやって助かっていたのか？とお互いに気になっていたことを語り合い、「津波は怖いけど...助かってよかったね」と。

現在、閑上にも災害公営住宅が建築し始めています。聴覚障がい者からの質問「閑上に戻るの？」に対して「閑上に戻るよ。賑やかな閑上になれるよう頑張ろう！美味しい料理教えてね。待ってるよ！」と笑顔で返答されていました。前向きな良いお話を聞いたスタッフ私達も涙が出そうになりました。近所同士、仮設住宅同士。近くにいながらもお互いに気になっているのを聞けなかったことを解きほぐすことが出来て、また、聴こえる・聴こえない人とご一緒に楽しめて本当に良かったと思います。

また、皆さんと笑顔で会える日をととても楽しみにしています。



